

# 議会報告会実施報告書

開催日時	令和4年10月28日（金）18時00分～19時40分		
開催場所	厚田保健センター	聴衆	11名
担当議員	1班	阿部、松本、神代、高田、伊藤、日下部	
<b>報告事項に関する質疑</b> なし			
<p>建設文教常任委員会の報告を受けて、厚田学園の校長より「ソクラテスマーケティング」の紹介をしていただいた。「一昨日、10名の講師（副市長、市職員、キャビンアテンダント、看護師、保育士、みよし園の相談員、日ハムのスポーツトレーナー等）を招き開催され、子ども達に大変に喜ばれた。又、参観日ともなっていたため、保護者も出席し好評で、今後も引き続き行って行きたい」との、お話を伺いました。</p>			
<b>意見及び要望等</b>			
Q1 第3回定例会での条例改正で「市議会議員、市長の選挙における条例改正…」とはどのようなものか			
A1 選挙用ポスター等、公費負担の額が一部引き上げられました。これは国で決められたことです。			
Q2 鹿による被害は、国道での交通事故や畑の作物など多くなっている。畑などには電気柵も有るが、それを乗り越えて侵入する。ハンター等により個体数を減らさない限り、被害は減らないのではないか。			
A2 猟友会の石狩支部には33～34名のハンターがいる。その内厚田には5～6名となっている。道の鹿対策予算で、鹿が嫌いな音が出る笛や、罠などでも対策しているが増えている。総務常任委員会でも取り上げている。			
Q2（再） ソーラー式の罠については、あまり効果が無いのでは。			
A2（再） その罠の使用は今年で終わり、撤去され違う場所に設置される。			
Q3 新幹線工事の残土の扱いは、石狩市ではどのようになっているのか。石狩市にも運ばれて来ているのか。市民への情報発信を。			
A3 安全なものとして、親船に入ってきている。今後、対策の必要なものは山口に、必要でないものは盤溪へ運ばれる予定。市民への情報発信については、市議会として要望している。			

# 議会報告会実施報告書

- Q3（再） 石狩市外のことで有るが、チェック体制はどうなっているのか。
- A3（再） 石狩湾新港西地区の判別ヤードにおいて、要対策土と無対策土に分けられる予定。無対策土は屋根のない所に置かれ、シートが被せられるが雨による濁水が発生するので沈砂池を設置し、また浄化槽の水質調査をし、基準値以下を確認して海に流す。月に一度程度モニタリングし公表される。
- Q4 聚富会館から望来までの国道には歩道が無い。大型車も多く通るため、非常に危険。自転車も通るので歩道を作って欲しい。
- A4 国道なので、議会から要望を出します。
- Q5 厚田区聚富にたくさんの風車計画がある。建設反対の署名を集め議会にも意見書を提出したが、あまり審議されずに不採択となった。ゾーニングにより建ててはいけないとされた地域にも関わらず、更に大型風車建設の計画がある。
- A5 （議員 A）風力発電に関しては、地球温暖化対策の意味で賛成しています。  
（議員 B）国は再エネ推進の方向に舵を切ろうとしている。  
議会では、キチッと話し合われている。
- Q5（再） 自分の家の近くに立つと思って考えて欲しい。低周波の影響があることは分かっている。
- A5（再） （議員 B）住宅と風車との距離をしっかりと取り、将来の子供達に負担をかけないように、何処から電力をとるのか考えなければならない。  
（議員 C）常任委員会では、もっと話し合われるべきと考えました。
- Q5（再々） 風力発電に関しての視察に行つて欲しかった。
- A5（再々） （議員 D）低周波の測定の仕方については新たにルールを作るべきだ。北海道は現状の発電量で足りている。今後の再エネによる電力は基本的に本州や関東圏に送電されるので、北海道の住民にはメリットが無い。  
（議員 A）電力の送電に関しては、本州から送電される場合もある。

## 意見

- ・国道の除雪が綺麗で業者にお礼を言いたい。
- ・墓地の周りの大木が、風で倒れるのではと支所に相談したら直ぐに対応してくれた。

# 議会報告会実施報告書

## 要望事項

- 1 鹿対策など推進するために、ハンターの育成を。
- 2 新幹線の残土について、石狩市民への説明会の実施を。
- 3 聚富会館から望来までの国道に歩道をつけて欲しい。